



平成25年度学校経営計画 大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校



芙蓉の花

本校の使命

本校は国立大学法人法に基づいて大分大学教育福祉科学部に設置された学校であり、次の3つの使命を持つ

1 知的に障がいのある児童生徒を対象に教育を行い、個々の能力を伸ばし、自立への意欲を育て、社会生活への適応を高める

2 大学教員や学生の教育研究に協力するとともに、教育実習生の指導にあたる

3 特別支援教育について、理論的、実証的教育研究を推進するとともに、地域の障がいのある幼児児童生徒やその保護者及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校への支援の充実に努める

学校教育目標

個人の尊厳を重んじ、児童生徒一人ひとりの心身の発達に応じて、小学部、中学部並びに高等部の各課程を通じて、調和のある一貫した教育を行い、自己の持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、身辺生活の確立をはじめ、家庭生活、社会生活、職業生活への適応性を高め、自立的、主体的な生活ができる人間の育成をめざす。

めざす学校像

「美」のある学校

児童生徒とともに教育環境整備・整理に取り組む

「連携」のある学校

教職員と保護者と地域社会が共に力を合わせて子どもを育てる

「改革」のある学校

学校のあり方や児童生徒の指導について常に見直し、児童生徒や教職員が生き生きと取り組めるように改善する

めざす子ども像

明るく元気なやさしい子

健康な心身の育成

自分のことは自分でする子

身辺生活の確立

人と交わり仲よくする子

集団性生活への適応能力への育成

かいつばい最後までがんばる子

社会生活に必要な基礎能力の伸長

職業生活への適応能力の育成

めざす教師像

①教師としての情熱と使命感をもち人間性豊かな教師

②「実践」:児童生徒の能力を最大限に伸ばすために、研究に基づく教育理論を背景に教育実践を行う

③「和」:教職員相互が厳しさと温かさを持ち、連帯と協調をもとに積極的に教育活動に取り組む

④「探求」:互いに学ぶ姿勢を持って教育研究に励み、自己を高めるとともに、学校全体の活性化を図り、特別支援教育の充実・発展に努める

学校現状と課題(H25)

- 1 安全・危機管理意識の重要性・日常性と校舎改修
- 2 研究・指導方法の改善
- 3 教材等の開発についての情報発信の継続
- 4 小中学部・高等部の一貫した自立・社会参加に向けての指導の充実(キャリア教育)
- 5 特別支援教育のセンター的機能の充実
- 6 県との交流人事異動の適正化

学校経営の基本方針

- 1 附属特別支援学校の3つの使命を根拠に持ち、児童生徒に確かな「生きる力」をつけ、学校教育目標の具現化を図る
- 2 「魅力」カアップ
 - ・教職員一人一人が意識し、附属学校の存在意義について具体化を図る
 - ・附属の良さを情報発信
- 3 「バランス」カアップ
 - ・授業力・指導力の向上
 - ・学校運営参画意識と業務分担の平均化
 - ・教職員の心身の健康保持

本年度の重点目標(H25)

- 1 安全・危機管理意識の重要性・日常性と校舎改修
- 2 一人一人の教育的ニーズを的確に把握し個別の指導計画をもとに指導実践・評価・振り返りを行い確かな力をつける
- 3 職員一人一人が学校課題を意識し、学校組織として課題解決に取り組む
- 4 保護者・地域・関係機関・大学と共働・協働する
- 5 特別支援教育の専門性向上のために地域貢献する

本年度の重点取組(H25)

- 1 ①安全・危機管理意識の重要性を意識し日常的に取り組む体制を整え指導にあたる【学校安全体制の強化】
②校舎改修に関わって、児童生徒が安全に安心して学習活動に取り組めるように環境整備を行う
- 2 ケース会議を指導に活かし、児童生徒のキャリア発達を促す
- 3 特別支援教育の専門性向上・授業力向上をめざした授業研究・実践を行う
- 4 情報発信・ホームページの継続

研究テーマ

第7次研究

「子どもたちの豊かな生活を求めて」

—主体的な社会参加と自立に向けた指導内容・指導方法の改善—

指導内容設定・改善、指導方法の改善

小学部	中学部	高等部
日常生活の指導	生活単元学習	作業学習

大分大学教育福祉科学部中期目標

中期目標

◇附属学校園の組織・業務運営の改善を図り、大学・学部と附属学校園との教育研究上の連携を強化する

中期計画

◇大学・学部と附属学校園が連携し、園児児童生徒一人一人の教育的ニーズ(理数教育、国際理解教育、ICT能力育成、異校種間の接続教育及び特別支援教育など)を踏まえた教育課程及び指導方法について先導的・実験的な調査研究を行うとともに、地域の教育課題に対応した調査研究を推進する

